



育てよう 町の宝

宝達志水町

第66号

令和3年(2021年)

11月1日発行

石川県宝達志水町議会

# 議会だより



## 宝達志水町商工会青年部

町内の保育所を訪問し、手作りの寸劇を通して園児に交通ルールや物事の良し悪し、日常生活のマナーをわかりやすく伝えています。

- 令和3年第3回定例会・・・・・・・・・・ 2
- 第2回臨時議会、議案に対する質疑・・ 3
- 討論・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 「町政を問う」一般質問（6名）・・ 6
- 常任委員会等審議・・・・・・・・・・ 13

# 令和3年第3回 定例会

9月9日～9月17日

令和3年第3回町議会定例会が開催され、補正予算5件、条例2件、契約2件が可決されました。

また、最終日には、議会運営委員会発委による「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」が追加提案され、議会議案提出2件が可決されました。



## 決算特別委員会を設置

令和2年度一般会計ほか特別会計4件、企業会計3件の決算認定についての各案件を審査するため、委員5名で構成する決算特別委員会を設置しました。

委員長 塚本 勇仁      副委員長 松浦 文治  
委員 小島 昌治      委員 勝二 正人      委員 岩根 信水

## 令和3年度 補正予算の状況

会計名		補正後の予算額	補正額
一	一般会計	85億7,896万円	4億8,834万円
特別会計	介護保険	19億7,023万円	2,718万円
企業会計	水道事業	5億2,840万円	▲46万円
	下水道事業	15億4,934万円	266万円

## 補正予算の主な内容

### 税務総務事務費

確定申告会場等での新型コロナウイルス感染防止対策に係る申告受付案内システムを導入する。

455万円

### 宝達山整備事業

山の龍宮城の移転先や展望施設のあり方を含めた山頂公園の空間整備について、基本構想を策定する。

90万円

### 商工総務事業費

石川県の不要不急の外出自粛要請等の措置により影響を受けている飲食店、宿泊業又は浴場業を営む事業者に対し、町独自の給付金を支給。

1,080万円

### 統合小学校改修事業

町内5小学校を志雄小と相見小の2校に統合するための改修に向けた基本設計業務等。

1,287万円

議員別賛否の状況 (賛否が分かれた議案等のみ)

件名	結果	岩根 信水	勝二 正人	松浦 文治	林 稔	塚本 勇仁	土上 猛	柴田 捷	北本 俊一	金田 之治	小島 昌治	北 信幸
議案第46号 宝達志水サッカー場改修工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	×	×

○は賛成、×は反対、△は退場、欠は欠席を表しています。なお、議長は、議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。(「裁」と記載)

7/13

第2回臨時議会

第2回臨時議会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策経費に係る補正予算1件が可決されました。

補正予算の内容

○新型コロナウイルスワクチン接種事業費

6,039万円

12歳以上64歳以下のワクチン接種に係る費用で、旧家電量販店建物を活用し、羽咋郡市医師会、金沢医科大学病院、宝達志水病院の協力のもと、医師4〜5人体制で全22回の集団接種を実施する。また、町内の医療機関で個別接種を実施する。



○新型感染症対策事業費

49万円

PCR検査を希望する65歳以上の高齢者等への検査費用の助成事業の完了による国庫補助金の返還。

○小学校コンピュータ教育事業費

402万円

新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン学習を推進するにあたり、タブレット端末を自宅に持ち帰るための必要経費。

○中学校コンピュータ教育事業費

245万円

新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン学習を推進するにあたり、タブレット端末を自宅に持ち帰るための必要経費。

第3回定例会

議案に対する質疑



北 信幸 議員

質 北 議員

山の龍宮城や山頂公園の空間整備についての経費を計上されているが、山の龍宮城については、改修工事を行った中で、床下に地滑りがあるということ、利用不可能となり、3年以上閉鎖している。以前にも、公募された経緯もある。

私が思うには、年間に7、8箇月の営業期間で、民間の方々の経営となればなかなかないような気がする。何が目的なのか分からないが、そういった目的ではなくて、やはり、登山者が雨風を凌いだり、休憩するような施設をいち早く設けるのが、行政の仕事だと常々思っている。3、4年経つても経費はこのような状態で計上し、最終的な目的が全く我々には見えてこない。

今回のこの経費に反対するわけではないが、せっかくの経費であるから、来春、開山祭が済んですぐにでもそういった休憩が出来る施設をいち早く設けてあげるのが、我々議会と行政の取り組みであると思うが、どのようなお考えなのか、お聞かせいただきたい。

答 寶達町長

非常に簡素なものではあるが、現在プレハブの小屋を置いて、対応をしている。利用者の方におきましては、現在そのような状況であることも認識していただいで、安全に山に登って

ただきたいと思っ

ただきたいと思っ

ただきたいと思っ

今後の方針について

今後の方針について

今後の方針について

今後の方針について

今後の方針について

して建設を進めて

して建設を進めて

質 北 議員

そういったことを

そういったことを

そういったことを

答 寶達町長

ただ今のご指摘も

ただ今のご指摘も

ただ今のご指摘も



柴田 捷 議員

質 柴田 議員

今回の補正予算は

今回の補正予算は

今回の補正予算は

今回の補正予算は

今回の補正予算は

今回の補正予算は

今回の補正予算は

の予算の中には見

の予算の中には見

の予算の中には見

答 寶達町長

ご指摘のとおり

ご指摘のとおり

ご指摘のとおり

ご指摘のとおり

ご指摘のとおり

て実施するものも

て実施するものも

て実施するものも

質 柴田 議員

前年度の繰越しが

前年度の繰越しが

前年度の繰越しが

前年度の繰越しが

前年度の繰越しが

言い換えれば、前年度繰り越すということは、その4億円近いお金が活かされていかなかったということ。余らないように予算組み替えをすれば良い。余ったのであれば、それを経済対策に回していくということも一つの方法ではなかったのか。

**答 寶達町長**

経済対策について、もっと大きな力を注いでいくべきだというご意見についてはごもっともである。

また、昨年度決算で余剰金があることにつきまして、余ってはいるが、対策が必ずしも不十分であったとは思っていない。関係の方から情報をいただいたり、我々自身も考え、他所の事例も参考にして、様々な対策を実施している。その金額についても、決して少ないとは思っていない。

そのような中で、余ったお金については、今後、法

律に基づいて積立もいたしますけれども、必要な時にはしっかりと支出を行って経済を支えていく、暮らしを支えていく、安全を守っていく、そのようなことに使っていかないといけない。

**質 柴田 議員**

町民の幸せのために、経済対策を提案されるということでございますので、期待をしておりますし、これから、引き続きコロナ対策に力を注いでいただきたい。

**答 寶達町長**

再三、ご提言いただきありがとうございます通りにやっています。

ただ今、ご指摘の通りでもございますので、しっかりとそういった考えを入れてやっていきたい。

**討論!**



小島 昌治 議員

**サッカー場改修工事  
請負契約の締結に反対**

今回の宝達志水サッカー場改修工事の入札方法は一般競争入札で行われました。一般競争入札とは総務省などは「地方公共団体に最も有利な条件を持って申し込みをしたものを選定して契約を締結する方法」と紹介しています。

ところが、今回は一般競争入札と言いつつ、一社だけが入札に参加して落札しました。今回落札した企業がこういう形で一社だけで入札に参加して落札したというのは今年で2度目です。一社だけが入札に参加するのは「競争」とは言

いませんし、総務省などが言うところの「競争原理を利用しての」地方公共団体に最も有利な条件での申し込みを選定する「仕事もできません。逆に言えば、町の有利な条件で選定するよりも、業者の言い値で工事が決められる疑いを持たざるを得ません。なぜ、(国の取り決めを無視してまで)一般競争入札の原理・原則が行政の場で貫徹できなかったのか。私には、2つの可能性しか思い浮かびません。

一つは、今回の公共事業が、今回落札した業者に初めから決められていた場合、もう一つは、法律どおりになるように、やるべきこともやらない町の行政の不作為(さぼり)です。それは当初、入札の参加対象を宝達志水町と羽咋市の業者だけに限定した結果が1社だけしか入札に参加しないと

分かった時点で、少なくとも同じ羽咋郡市内の志賀町

やお隣のかほく市に入札参加対象を広げ、入札参加者を増やすことが「地方公共団体に最も有利な条件をもって申し込みをしたものを選定」できることに繋がらないでしょうか。

実は、この指摘は6月議会での中央保育所入札でも行っています。(入札・落札したのは同じ業者です。)

町内の一部の業者と町行政との関係が、町民から信頼される入札の在り方に改めるよう、行政の責任者である寶達町長、そして入札の責任者である高下副町長、そして入札の担当部署である金田財政課長に再度、指摘して反対討論とします。



▲宝達志水サッカー場

# 町政を問う

## 議員6人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般にわたって、町長などの執行機関に対して事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明・報告を求めるものです。

	ページ
■松浦議員 . . . . .	7
・米出バイパス、山の龍宮城の工事完成はいつか	
・給食費無償化に向けた施策を検討せよ	
■岩根議員 . . . . .	8
・サテライトオフィスの誘致を	
・婚活支援に注力を!	
■塚本議員 . . . . .	9
・町道付帯水路の安全管理・衛生管理に伴う改修を	
■勝二議員 . . . . .	10
・安定的、継続的な除雪体制の確保を	
・移住施策の更なる強化を	
■林 議員 . . . . .	11
・防災士の災害対応を適正に	
・機能別消防団員の活動について	
・通学路の安全対策を万全に	
・宝達駅東口の整備について	
■小島議員 . . . . .	12
・8月からの介護保険改悪の影響調査を	
・10代感染者が増えるもとの感染対策を	



松浦 文治 議員

### 米出バイパス、山の龍宮城の 工事完成はいつか

米出バイパスは令和7年度、  
山の龍宮城は令和5年度の  
完成目標としている

置すればどうか。

答 寶達町長

米出バイパスは完成目標時期を令和7年度、山の龍宮城は令和5年度としており、鋭意、事業を推進して参りたい。

また、ご提案に沿って、両事業の完成イメージや工事スケジュールについて現場付近に看板等を設置し、周知したいと考えている。

答 藤本地域整備課長

米出バイパスの進捗状況については、平成30年度より、測量、道路設計、保安林調査、用地測量、保安林解除の手続き申請等を順次実施している。

保安林解除は令和3年2月末に手続きが完了し、用地買収を開始して、米出区や地元地権者、関係機関の協力を得て、令和3年8月末現在で一部を除き契約等の手続きを終えており、今後、工事を進めていく。

答 安達企画振興課長

山の龍宮城については、令和元年度、改修工事に建物下に地盤陥没が発見されたため、安全性が確保できる場所で新施設

を建設することとした。

令和2年度、新たな山の龍宮城の基本設計と施設整備後の管理運営を一括とした公募を行ったが結果的に選定には至らなかった。

令和3年度には、山頂来訪者の実態把握調査を実施し、来訪者数は推計で年間約2万人以上であった。

これらの状況を踏まえ、新龍宮城は安全な場所に新築し、無人化とすることを検討している。

今後の予定・完成時期については、今年度中に意見交換会の開催及び環境デザインの専門家による宝達山頂公園全体の空間整備基本構想の作成、令和4年度に再建に向けたコンペの実施、令和5年度に、再建を考えている。



▲以前あった山の龍宮城

### 給食費無償化に向けた 施策を検討せよ

無償化のための費用を  
経常的に捻出することは困難

問 松浦議員

本町では経済的な理由によって就学が困難と認められる町立小中学校に在学する児童生徒の保護者に対して、学校で必要な費用の一部を町が援助する就学援助制度があるが、支給されたうちの学校給食費の受給者数等はどのような状況か。また、この制度の周知等はどのようにしているのか。

近隣の市町が給食費を一部無償化や無償化としているが、完全無償化になれば、恒久財源の確保が課題となる。我が町の財政事情と絡めて今後の給食施策をどのように進めるのか。

答 寶達町長

給食費について、人件費や物価、輸送費等の上

昇により、給食業務委託料が増加している。しかし、保護者負担に配慮し、平成18年度から給食費を据え置いている。

令和2年度決算の給食費は総計約3,800万円であり、無償化のための費用を経常的に捻出することは難しいと考えている。

答 笠松学校教育課長

学校給食費の支払に係る就学援助の受給者数と援助費については、昨年度の受給者数は58人、年間の援助費は総額約4,719千円で、そのうち学校給食費として約2,816千円を支給した。制度の周知は、毎年9月頃の就学時健診にあわせて保護者に対し説明会を開催している。



岩根 信水 議員

### サテライトオフィスの誘致を

#### 誘致を進めていく

問 岩根議員

県のホームページで紹介されている本町のサテライトオフィスは敷浪の「暮らし体験の家」の一件のみである。

コロナの収束について先が見えないからこそ、今後テレワークの拠点となるサテライトオフィスが注目されると推測している。

また、首都圏からの移住やUターンを促す良い機会でもある。

サテライトオフィスについては県からも補助金が望めることから、空き家や既存の施設を活用し、広報活動も含めて積極的に誘致すべきであると思いが、いかがか。

答 寶達町長

コロナ禍における新しい働き方としてテレワークが普及し、都市部から地方への移住が進んでいる。サテライトオフィスのマッチングイベントに、昨年度は二回、今年度は一回参加し、町の環境や魅力等を発信している。教育振興施策など子育て環境のPRを行い、関心を持って貰えるよう誘致を進めていく。



▲暮らし体験の家

### 婚活支援に注力を！

#### しっかりと取り組んでいく

問 岩根議員

コロナ禍で婚活イベントなどは開催しにくい状況が続いている。また、近年の本町の子供の出生数低下には大変危機感を覚えている。

そのような状況で結婚を望む方を支援することは、町としても取り組むべきことであると考え、インターネットを活用して出会いの場を設けるなど工夫を凝らす必要があると思うが、いかがか。

答 寶達町長

ご指摘のとおり、本町の出生数低下は危惧すべき状況であり、婚活支援も重要な取組みである。

今定例会にて婚活イベント委託料を計上しており、コロナ感染状況を踏まえ安全にイベントを開催したいと考えている。

また、他地域と連携した婚活事業を推進するた

め、宝の縁結び事業の登録者増加施策を検討している。

今月から、いしかわ結婚支援センターがオンラインお見合いを行う。これを町の登録者等に周知すると共に、今後の参考としたい。

民間の結婚相談事業者の活用の際に補助は制度化の可否を検討する。

問 岩根議員

結婚して町内に住むカップルは過去5年で平均37組であった。この状況で出生数が今より大幅に伸びるとは考えにくい。

是非とも結婚支援には力を注いでいただきたい。

答 寶達町長

しっかりと取り組んでいく。





一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



塚本 勇仁 議員

町道付帯水路の安全管理・衛生管理に伴う改修を

地元と協議のうえ、改修を実施する

町内の町道において危険な箇所と思われる用水路がある。特に、志雄地区においては、集落内の町道に平行している用水路が数多くありますが、一昨年前において、足の不自由な方が用水路に転落してなくなった事例もある。それ以降にも、数回の転落事故があり、宝達志

水病院に緊急搬送されている。幸いにも大事に至らなかったという事例もある。また、町の宝である子どもたちも道路上で遊んでいる姿をいつも目にしますが、事故がなければいいなと思いつつも見ています。また、この用水路流域周辺は住宅化が進み、用水頻度がかなり少なくなっており、現在では非常用水として利用されている状態である。そのため、流水の水路も少なく、衛生管理上にも問題があると思われる。一昨年前に起きた事故を教訓とし、町民の安全安心のためにも水路整備をされてはどうか。そのことによるメリットは多く、高齢化の進む中において水路管理の労力の減少、また、それに伴い道路幅の拡大にも繋がる。

しかし、デメリットの声もあり、冬場の雪の捨て場所がなくなるといった声もありますが、雪の排せつ場所の設置で、解

消できると考えている。また、他にも宅配便の車が来たけれども、道路幅が広いのに水路があつて曲がれず入ってこれないといった声をよく聞き、交差点の拡幅工事も待ち望まれている状態である。そのような、改善箇所をため込まずに、一つ一つ解消していけばどうかと考えますが、町長はどのようにお考えか。

町道に付帯している水路の改修については、基本的に、地元集落からの要望に基づき、地元負担をご協力いただいで実施している。ご質問のような蓋版の設置がされていない開渠状態の水路は町内に多数存在しており、交通の支



▲町道付帯水路の現状

障や事故の発生がある。安全な道路環境整備のために、集落等からの要望箇所、また危険箇所について、地元と協議しながら改修を実施して参りたい。また、町道交差点の隅切りについても同様に対応して参りたいと考えている。

宝達町長



議員 正人 勝二

### 安定的、継続的な

### 除雪体制の確保を

### 除雪体制の確保に努める

問 勝二議員

冬期間の除雪は、通勤、通学、緊急医療、消防防災等、住民生活の上で非常に重要な作業の一つと考えられ、安定的、継続的な除雪体制の確保、維持は極めて重要な課題となっている。

除雪業者の体力や、優れたオペレータの絶対数が減少し、人員確保が困難な状況になっており、除雪機械の維持管理費負担増など課題が深刻化している。

また、昨年のような大雪で連続して出勤する場合、オペレータが1、2名の除雪契約者は長時間の稼働が余儀なくされており、大変過酷な状態での除雪作業となっている。そこで、町としてオペレータの育成等を考えているのか伺います。また、各除雪路線の選

定はどのように決められたのか、除雪体制確保に向けて当町としての体制今後の方向性をお伺いします。

答 寶達町長

オペレータの育成につきましては、業者への聞き取り等を行い、必要な対策を検討したい。体制確保の方向性についてですが、近年、除雪機械の老朽化が進んでおり、業者の負担軽減のために町として除雪機械の導入や貸与の拡充を検討すると共に、新規の除雪協力者の確保に努める。

問 藤本地域整備課長

除雪作業の委託業者は、令和2年度では30者、その外に3集落に除雪機を貸与し、除雪をしていた。30者のうちオペレータの登録者数は1名のみが3者、外は2

名以上の登録となっている。

次に、除雪路線の選定については、概ね業者の地元周辺路線が担当となるよう、また、業者が保有する除雪機の大きさや種類を考慮して選定している。

また、平成30年1月の大雪を教訓とし、除雪作業が早く終わった業者から連絡をもらい、遅れている路線への応援態勢も構築し、引き続き、業者との連携を図り、安全で迅速な除雪対応に努めていく。

## 移住施策の更なる強化を

### 移住・定住の増加に 総合的に取り組む

問 勝二議員

コロナ禍によるテレワークの推進等で、人々の働き方や人口一極集中に変化が生まれ、都市部で地方移住への関心が高まり、移住が進んでいる。石川県のまとめでは、

昨年度、県内への移住者は1,430人と過去最多となった。本町も移住者の増加に繋がるための環境を整えたら良いのではないかと。昨年度の町における移住者の実績をお伺いします。

問 寶達町長

また、町と町定住促進協議会の最近の活動内容や、今後の施策の更なる強化の必要性等の方向性をお伺いします。

本町において、主にオンラインを活用した移住相談等に取組んだ結果、県外からの移住者は12人で、県内からの移住者は76人でいずれも過去最多となった。

移住希望者に対しては、緑の無い土地での新生活や仕事探し等をサポートするために、農家や商工業者等と連携しながら短

期の農業や仕事の体験ができるプログラム等に希望者に寄り添いながら取り組み、空き家バンクへの登録促進、自然の豊かさや充実した子育てサポートと学校教育等の本町の強みを活かした総合的な取り組みを積極的に進め、移住・定住の増加に繋げていきたい。

問 安達企画振興課長

町と定住促進協議会の活動内容としましては、希望者へのサポートとして、住居の紹介や現地案内を含めた移住相談に対応する移住案内人の配置、地域の良さを知っていただくための暮らし体験の家の運営、専用ホームページやSNSで移住関連情報や町の近況等の情報発信を行っている。

今年度、敷浪区の暮らし体験の家に加え、宝達区の民泊施設(くずの里)においても、暮らし体験ができる体制を整えたところであり、利用者の増加に取り組みたい。今後は、首都圏等で開催される移住相談会に等にも参加していく。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



林 稔 議員

防災士の災害対応を適正に

訓練や研修会等を実施し、早期に避難所運営に取り組む

答 寶達町長

防災士の協力が得られるような体制整備については、町防災訓練において防災士の参加を得た避難所運営訓練を実施している。今後も同様の訓練や研修会等を実施し、熟練度の向上や関係機関との連携強化を進め、町防災士連絡協議会に対して今後、早期に避難所運営に携わっていただけるように取組んでいく。

答 宮本危機管理室長

今後、消防団内で調整し、招集可能となるように取組んでいく。

問 林 議員

① 防災士の災害時協力について

町の防災訓練や県の研修に防災士の参加があり、防災士の協力体制の強化が図られている。

今後、災害時に避難所運営や集落での安全確保のために、防災士の協力が得られる様な体制整備を進めるべきと考える。② 機能別消防団員の活動について



▲町防災訓練(避難所運営訓練)に参加する防災士の皆さん

通学路の安全対策を万全に

グリーンベルトの設置等の

通学路の安全確保に努めたい

問 林 議員

① 通学路の安全対策について

千葉県八街市の通学路での事故を受けて、国は通学路の安全対策を進めるとしている。これを受けて、町では通学路の安全点検を実施したと思う。国の対策に歩調を合わせ、安全対策を強く推進していくべきと考える。

どの様に対応を進めて行くのか示されたい。② 宝達駅東口の整備について

安全のために区画整理や一方通行等の対応が必要と考えるが、どうか。

答 笠松学校教育課長

① 通学路の安全点検につきましても、各学校による点検の後に、警察、県土木事務所や町安全協会など関係機関を交えた

点検を実施している。

今年度、全小中学校に危険箇所の提出を求めましたところ、樋川小学校、相見小学校から危険箇所の点検要望があり、通学路安全対策アドバイザーの方の指導・助言をいただきながら、前述の各機関と共に、道路陥没箇所や、ガードレール、街灯の新規設置要望箇所の現地確認等を実施している。

答 寶達町長

グリーンベルトの設置や踏切の拡幅等、各種安全対策につきましても、関係機関と連携し、必要な箇所について整備出来るよう取組み、通学路の安全確保に努めたい。

答 安達企画振興課長

② 宝達駅東口の安全対策についてでございますが、ご指摘の様に歩道が途切れ、駐車場となつて

いる箇所がございます。歩行者の安全のために改善を行っていきたくと考えている。



▲宝達駅東口



▲通学路の安全点検



小島 昌治 議員

### 8月からの介護保険改悪の 影響調査を

「調査は実施しない」が一転  
「把握をする」と

問 小島議員

住民税非課税（年金収入155万円以下）の方で、年間120万円の年金で暮らしている方でも施設に入所していたり、デイサービスを利用していたりすると食事代が大幅に値上がりします。月2万2千円、年間で26万円も負担が増えます。施設の利用者は不安を口にされます。加えて、10月からは75歳以上の方々は医療費がこれまでの2倍になります。

影響を受ける町民に事情を伺い、必要ならば予算を伴った対策をするべきです。親の介護費用を助けている子どもたちも「コロナでもう援助できない」と。  
政府は年額120万円の年金の人が、年間26万

円も施設利用料が増えても大丈夫だと考えている

町の高齢者の尊厳が大事をし、政府に「そうじゃない」と言うのが町長や課長の皆さんの仕事ではないか。

答 寶達町長

対象者の調査をします。



### 10代感染者が増えるもとの 感染対策を

#### 対策本部会議への病院長の 出席も検討する



▲コロナ感染からこの子たちを守りたい

問 小島議員

アメリカの疾病対策センター（CDC）によれば、新しいコロナウイルス・デルタ株の感染力をこれまでのコロナウイルスと比較して、人に感染させる力は「4倍から5倍に強まっている」と言っています。

これまでの新型コロナウイルスとレベルの違うもの変わってきています。感染しにくいと言われてきた10代の子どもの感染者が7月と比べると6倍になったと厚労省が報告しています。

学習塾や保育所、放課後児童クラブのクラスターが増えています。学校教育課長にお聞きしたら、7月・8月で、140校余りで県内で感染があったことをお聞きしました。こうした中で、文部科学省が2学期の開講に向け「小学校・中学校・高等学校における新学年に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底」という通達を出すほどです。今回は、子どもたちの感染防止対策等に絞りたい

くつかお聞きします。

① 新型コロナウイルスワクチンが千回分ほど残して町の集団接種が終わりですが、どう使い切るのか。

② 町の対策本部に医療の専門家がいないのは重大問題だが、どうするのか。

③ 学校教職員への定期的なPCR検査を。

答 寶達町長

① 10代の接種については教育委員会と連携して進めます。

② 町対策本部への宝達志水病院長の出席も検討します。

③ 感染状況を踏まえて、教育委員会と協議し、検討します。

会期中の  
常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(9月10日)

問 ワクチン接種3回目となった時に、打ち手が足りているのか。増やさないといけないのか。

答 現在2回接種がセットになっているが、3回目の接種は基本的には単独になるので、金沢医科大学病院や羽咋郡市医師会の協力が得られれば、現在より負担が大きくなることはないのではないか。

問 ワクチン接種は看護師もできるのではないか。

答 接種を始めた時に、怖いワクチンという印象があり、医師が接種をした方が良いということで、医師が接種を行ったと理解している。ワクチンが大量にあり、流れ作業で打

てれば、看護師に打ち手に回ってもらい、医師は問診に集中する方が良くもされない。状況によって態勢を考えたい。

問 デルタ株が広がっている。ミュー株はワクチンが効かないとネット上で言われている。ワクチンの効果は日が続つにつれて薄くなってくる。今後、どのようなことに気を付ければよいか。

答 病院に限って言えば、マスク着用、手指消毒など、感染予防を徹底的に行うこと。デルタ株にしても、基本的にはマスク着用、手指消毒である程度の予防はできる。

問 感染管理認定看護師は現在1名だが、増やすためには看護師の増員が条件になるのか。

答 専門ナースは病院にとって強い戦力だが、1年近く外部に行かないと資格が取れないので、現状で

は難しい。現在いる感染管理認定看護師にある程度歩調を合わせられることができるように、現在いる看護師を育成したい。

問 食中毒に対しての病院の備えはどうか。

答 当院は今まで食中毒が出たことはないが、万が一発生した場合、近隣病院等と連携して食事を提供していただく提携をしている。

問 若い人たちの接種について、12歳以上の方に町として接種を促進するきっかけを考えることが必要ではないか。

答 啓発活動を行っており、周りの人たちと話し合っ

問 PCR検査機器を購入したのか。

答 次々と新しい機器が出ており、タイミングを計って購入を検討している。

教育厚生常任委員会

(9月13日)

問 8月末のマイナンバーカード交付率は、38・9%であるが、今年度の目標値を設定しているのか。

答 今年度の交付率の目標は50%以上としている。

問 宝の縁結び事業について、成果を上げられるような予算を組んでほしい。また、50歳以上も対象とし、年代に拘らずに対応してほしい。

答 イベント内容については、25歳から45歳の男女各10人を対象として実施する。町内の50歳以上も含め、町の登録会員数を増やし、マッチング数を増やしたい。

問 地域おこし協力隊(英語講師)について、実際にはどのような内容なのか。

答 町内に公営塾として英語講師を募集し、放課後の

学習支援や補習等を予定している。

問 現在やっている塾の内容及び生徒の参加人数は。

答 東大セミナーを中学3年生を対象に夏休みに行っている。30〜40人の参加があった。また、夏休み期間中にチューターの学習支援として、中学生を対象に行っている。

問 東大セミナーは金沢の業者ではないか。今後もやっっていくつもりなのか。

答 東大セミナーについては、今後も協力していただくことになっている。本町出身の方が経営されており、本町の教育のために協力的にやっていたい

問 東大生の指導や講義について、子ども達に上手に興味を伝わっておらず、分かりやすく説明してほしい。また、先生方と塾との関係を良く考えて

総務産業建設常任委員会

(9月15日)

もらいたい。高校・大学受験は公立の先生を頼っても上手いかず、塾へ行くことが蔓延しているという実態を把握していただきたい。これは、人口流出にも繋がってくる。

先生方の連携について、管理職や学年主任、教務主任と話を進めて一つ一つ取り組んでいく。民間の力をお借りし、協働しながら教育に取り組んでいきたいと考えている。

問 小・中学校の部活動の状況を聞きしたい。

県の教育委員会の方針に従い、原則中止としている。大会がある場合は、学校長の判断により10日前から活動できることとしている。

問 紋平柿は東間区と山崎区

に作られているが、同じ種類の紋平柿なのか。また、昨年、イノシシがいたずらして柿を木から落としたが、今年はその対策をどうしているのか。

山崎区も東間区も同じ紋平柿である。また、イノシシの対策は各集落で電気柵を設けるなどの対策が図られている。

問 役場の本庁舎に入る時に、

検温器が正面玄関に設置されていないのはなぜか。設置すべきではないか。ちなみに、庁舎の玄関には設置されていないが、住民課に入るところには設置されている。また、アステラスなどには設置されているが。

答 検討する。

問 コロナ禍の下での、町が

管理運営を委託している所に通っている町民から事業に対して「最近はなかなか行けないが、コロナの状況が改善されたら頻繁に行くつもりだ。それまで、続けていてほしい」との電話の問い合わせや要望が寄せられている。町の施設なのだからその要望に応える必要がある。いかがか。

答 承知している。

国内からライダーが集まり、千里浜の渚をバイクでツーリングするSST R(サンライズ・サンセット・ツーリング・ラリー)に86万円余の予算が付けられている。これは、「地域経済の活性化に繋げる」とのうたい文句があるが、そのために具体的には何をするのか。

ライダーの方々はこの地域の店舗を紹介したり、町のポイントカード会へのお誘いチラシを配布したり、「よさこい」を見

てもらったりしながら、宝達志水町を発信する。

問 4年後に進出する可能性のある企業に、4千5百万円の債務負担行為の設定をすることについてだ

が、基本的に財政はその年度の事業に予算を付けるのが筋です。ところが、4年後に進出してくる予定の企業に町長の「特選」というあいまいな規定で、4千5百万円もの債務負担行為はどうかしている。なぜ、このようなことが起こるのかを考えると、その進出予定の企業の役員の中では、進出の意思が一致していないのではないだろうか。4千5百万円が助成されるとい

一方の側を利するような債務負担行為の設定は会社法や商法などとの関係で問題はないのか。また、地方財政法との関係では問題はないのか。

確かに企業側にはそんな事情があるのかもしれないが、法律上は問題はない。

問 町の財政状況がずいぶん健全化されているが、県内の市町と比較するとどうなのか。

昨年度の町の財政状況は、実質公債費比率が県内上位から2位、将来負担比率は上位から6位である。

う(仮だが)自治体との間で約束が取れると、進出するという一致がはかれると、進出する意思がある一方から言われて、町長はそれに乗ったのではないか。本末転倒している。そして、企業の中の

9月24日  
**新型コロナウイルス感染症対策  
 特別委員会を開催**

現在、重症化のスピードが早く、感染力が強いとされるデルタ株の割合が8割を超え、「まん延防止等重点措置」期間中において、感染症対策特別委員会が開催されました。

**議会側からの提案と  
 町の答弁（要約）**

**議会①**

飲食店等経営支援給付金について、令和3年3月までの事業者に対しては支援され、今年度以降の事業者については、対象外になっているのではないかと。令和3年3月までではなく、それ以降に起業・創業された方々についてはどうなっているのか。また、募集期間が非常に短い1箇月程で、どれだけの申請があったのか。

か。申請できなかった、しなかつた方々について、申請期間の延長も必要ではなかつたのか。

**町①**

4月以降の起業・創業者に対するコロナの支援は、コロナによる落ち込みを比較対象しているため、支援の対象ではないが、起業・創業バックアップ事業補助金により支援を行っている。また、テイクアウト・デリバリー事業について、申請期間内に9件受付した。

**議会②**

起業・創業バックアップ事業は昨年度もあり、昨年度申請された方は該当するが、今年度は起業・創業支援があるから関係ないということにはならないのでは。

また、事業者支援について知る限りでは70%しか申請されていない。残りの30%はどうなるのか。

**町②**

飲食店等経営支援給付金について、42者見込んでいたが、29者の申請があつた。残り3割の事業者について、商工会と相談や意見交換をして、コロナによる売上げ30%減まではいかなかつたと聞いている。

**議会③**

今年度創業される方への支援策はどうされるのか。

**町③**

ご意見をいただいたので考えたい。

**議会④**

インフルエンザ予防接種について、昨年度は無料でしたが、今年度の方針は。抗原検査キットの小・中学校、保育所への配付状況

はどうなっているのか。11歳以下のワクチン接種に関して、何か情報はあるのか。

**町④**

高齢者のインフルエンザの負担金は今年度は1,300円としている。

抗原検査キットは、相見保育所に20個、押水第一・南部・中央保育所に各10個、県から配付されており、町独自でも5個ずつ配付している。学校へは町独自で20個配付している。

11歳以下の接種については、国の動向に注視して情報収集に努めている。



▲抗原検査キット（鼻腔用）

**議会⑤**

ワクチンが約1,000回分（500人分）残っており、おそらくワクチン1回で6人分であるから、開業医へお願いして患者1人が接種したら、残り5人分は捨てないといけない。10月3日で集団接種は終了ではなく、貴重なワクチンが有効に使うためにも、今後集団接種に取り組む必要があるのではないか。

**町⑤**

今後は、個別接種を実施しておりますので、そちらで接種していただきたい。

**議会⑥**

今年末にはインフルエンザやコロナで大変になるのではないかと。今年末まで集団接種をするべきである。

**町⑥**

集団接種を希望されなかつた方については、個別接種での対応としたい。

「表紙の写真は」

議会広報「宝達志水町を裏で支える人達」の第4弾は「宝達志水町商工会青年部」の皆さんです。

宝達志水町商工会青年部事務局の合田昇平さんにお話を伺いました。

宝達志水町商工会青年部は町内に事業所のある会社や個人事業主の中で、若手経験者や後継者で構成される組織です。現在20名の部員が、経営者として資質向上や地域振興の事業に積極的に取り組んでいます。

特徴的な事業として、町内保育所を訪問して青年部員が寸劇を演じる地域振興事業『商工戦隊なぎさレンジャーショー』があります。旧志雄町の商工会青年部が、昭和43年に始めた事業であり、現在までに51回実施しました。

なぎさレンジャーの寸劇では、悪役に襲われる子役をレンジャーたちが助ける単純明快なストーリーの中に、子ども達がひとつ大切なことを学べるように心掛けています。旬のモノを題材とした脚本の作成や、当町のマスコットキャラクターである「ほっぴーさん」の出演、ダンスの導入など、子ども達に興味を持ってもらえるように工夫しています。

これからも、地域振興の積極的な取組をしていただけることを期待します。

インタビュー 林 稔

被災箇所の現地視察

総務産業建設常任委員会 委員長 小島昌治

令和3年8月12日～15日にかけての豪雨及び秋雨前線豪雨により被災した農業施設等の被災箇所(3箇所)の現地視察を行いました。

「現地視察箇所」

- ①町道子浦大川町1号線 路肩決壊 (L≒24m)
- ②町道新宮3号線 道路崩壊 (L≒60m, H≒6m)
- ③農業施設(所司原地内) 水路法面決壊 (L≒50m, H≒5m)

一刻も早い被災箇所の復旧を願います。



▲農業施設災害(所司原地内)

# 令和3年 第4回定例会本会議の日程

〔開会〕12月9日(木) 午前10時      〔再開〕12月17日(金) 午後2時

### ◎傍聴のご案内

- 受付 会議当日、午前8時30分から議会事務局(庁舎3階)で受付いたします。
- 手続 傍聴受付票にご自分の住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。

◎新型コロナウイルス感染防止のため、人数を制限するなど感染防止対策にご協力ください。

◎町議会のトップページより議会本会議の生中継をインターネット(YouTube)で見られますのでご覧ください。

(※本会議当日は1階正面玄関住民課側の町民サロンのテレビでもご視聴いただけます。)

●議会だよりへのご意見、ご感想がありましたら、電話、FAX、Eメールなどでお寄せください。

### 広報編集特別委員会

- 委員長 林 稔
- 副委員長 小島 昌治
- 委員 塚本 勇仁
- 委員 松浦 文治
- 委員 勝二 正人

令和3年11月1日 発行

■発行 宝達志水町議会

責任者/議長 金田 之治

〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310(直通) / FAX(0767)29-4623

E-mail gikai@town.hodatsushimizu.lg.jp

■編集責任者/林 稔



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています E3PA:環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。